



2013年9月27日

各位

会社名



日医工株式会社

(証券コード 4541 東証一部)

代表者名 代表取締役社長 田村 友一
お問合せ先 社長室長 東 満之
TEL 076-442-7026

アステラス製薬グループの富士工場の事業の承継に関する基本合意書締結のお知らせ

日医工株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長:田村友一、以下「日医工」)は、アステラス製薬株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:畑中好彦、以下「アステラス製薬」)の日本の生産子会社であるアステラスファーマテック株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:清水隆司、以下「アステラスファーマテック」)の製造拠点の一つである富士工場(静岡県富士市)の会社分割方式による事業の承継を2014年4月1日より行うことに関し、アステラスファーマテックと本日、基本合意書を締結致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 富士工場の事業の承継目的と今後の予定

日医工グループは、2012年4月から4カ年の第6次中期経営計画「Pyramid」をスタートさせ、「ジェネリック世界TOP10」の最終年度に向け、4つの戦略(ブランド戦略・ユーザー戦略・差別化戦略・コスト戦略)を実行しておりますが、本年4月に厚生労働省より「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が公表され2018年3月末までにジェネリックの数量シェアを60%以上にする新目標が発表されたことにより、更なる需要増加に対する安定供給の取り組み、品質への信頼性と情報提供の向上が必要となっております。

このような環境のなか、アステラスファーマテックの富士工場の事業の承継することにより高いシナジー効果が期待できると判断し、基本合意書を締結致しました。

この事業の承継により、次のような効果が期待できるものと考えております。

- (1) 生産能力アップによる安定供給の確保
- (2) 内製化によるコストダウン、大量生産可能な工場の特徴を活かしたコストダウンの推進
- (3) アステラスグループ内で培われた高い品質管理能力・技術力の融合
- (4) 生産拠点の分散化によるリスクマネジメント強化

一方、アステラス製薬においては、急速に変化する事業環境に対応し、持続的な成長を実現するために、生産・技術面における自社機能強化と共に「高品質な医薬品の安定供給」を効率的に行える外部パートナーへの製造委託による「変化に強い生産体制」の確立を進めていますが、品質・技術に対する基本的な考えが一致している日医工のもとで、富士工場とのシナジー効果が発揮され、将来の成長に向けた高品質かつより効率的な製造委託体制が確立されるものと期待されます。

2. 事業の承継方法

最終合意成立後に、アステラスファーマテックの完全子会社(名称:未定;以下「新会社」)を設立し、2014年4月1日付(予定)で、吸収分割により富士工場の事業を新会社に承継させた上で、アステラスファーマテックが保有する新会社の全株式を日医工が譲り受けます。

3. 事業の承継日程

2013年 9月 27日 基本合意書締結(日医工取締役会決議)
2013年 12月 最終合意書締結(予定)
2014年 4月 1日 事業の承継完了(予定)

4. アステラスファーマテック及び富士工場の概要

・アステラスファーマテック株式会社

本社:東京都中央区日本橋本町 2-5-1

代表者:代表取締役社長 清水 隆司

資本金:1億円

事業内容:国内向け医療用医薬品・原薬の受託製造、海外向け医療用医薬品・原薬の受託製造
治験用医薬品・原薬の受託製造、開発用原薬の受託製造

従業員数:約 1,670名(2013年3月末現在)

製造拠点:高萩技術センター、富山技術センター、焼津技術センター、高岡工場、西根工場、富士工場

・アステラスファーマテック 富士工場

所在地 :静岡県富士市中河原 88

敷地面積:96,506 m²

建築面積:57,789 m²

従業員数:370名(2013年3月末現在)

生産剤型:錠剤、カプセル剤、散剤、顆粒剤、注射剤

生産実績:錠剤 約 20億錠、注射剤 約 500万本(2013年3月期)

5. 今後の見通し

本件による当社の2014年3月期の連結業績への影響については現段階では発生しない見込みですが、来期以降の業績に貢献する見通しです。今後、変更が生じた場合には速やかに公表致します。

以上